

月刊 きょうと教育通信

Vol. 33 平成17年10月号 発行:京都市教育委員会総務課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

政令指定都市初！

京都市立学校スーパーティーチャーを発令

9月16日、教育活動の各分野で優れた専門的な能力や技能・実践力等を有する京都市立高校教員30名が、京都市立学校スーパーティーチャーとして発令されました。

これは、教科指導、生徒指導、部活動指導など、教育活動のそれぞれの分野で卓抜した力量を有し、他の教員の模範となる実践を進める教員を積極的に評価し、その専門性を広く本市全体にまで波及させるために、本年7月に創設した「スーパーティーチャー制度」に基づき、発令されたものです。

スーパーティーチャーとして認証された先生方には、より一層、本市の教育改革の推進の先頭に立って力を発揮されることが期待されます。

<スーパーティーチャーに認証された教員>

長谷川茂樹・佐藤升男(洛陽工<全>)、砂田浩彰・西田秀行・高崎利明・牧戸万佐夫・藤井範久(伏見工<全>)、築山富司彦(伏見工<定>)、吉田明・竹田昌弘・山脇護・渡邊為彦(西京<全>)、中塚洋・庵原勝哉(西京<定>)、梅林敬蔵・久保千鶴(銅駝美工)、蔵野雅彦(音楽)、伊賀公・森百合子・中山浩(堀川)、山本順一・篠原真二・川崎欣也・高木剛友(日吉ヶ丘)、奥城丈志・皆川春雄・甲良泰明・正本浩(紫野)、谷内秀一・高橋亮(塔南)



ご意見・お問合せ = 教職員人事課(222-3781)

地域の子育てサポーターが活躍！

「親と子のほっとタイム」が初開催

17年度新規事業「親と子のほっとタイム」(全6回)の第1回講座が、10月1日、朱雀第六小学校で開催されました。

この事業は、育児や仕事などで保護者等に出席しにくい方を対象に夜間や土曜日、親子のふれあいの場や子育て情報を提供するものです。運営には、全市で120名を超える「子育てサポーター」が連携して事業をサポート。今回は、心の中でジャンケンを試みたり、顔の表情から気持ちを読み取ったりするなど、参加者がゆったりとした時間を過ごされました。

今後も多くの親子が参加しやすいよう土曜午前や平日夜間に開催する予定です。



ご意見・お問合せ = 生涯学習部(222-3590)

《9月の主なできごと》

- 2日 山階小で京都市7校目(全国最多)の学校運営協議会が設置。今後11校で設置予定。
- 15日 18年度市立学校教員採用試験320人が内定。20年ぶりの規模に。国際貢献活動経験者への特別選考枠に昨年度の倍10人内定。

全国初！京都大学ジュニアキャンパス2005 ～学問の不思議を知ろう～

23・24日に実施。中学生及び保護者が京都大学最先端の研究を体験できるという全国初の試み。京都市立中学生等160人及び保護者約40人が特別講義の後、天文学や機械工学など約30のゼミに分かれて体験。

「学校茶道研修講座」スタート

30日、京にゆかりが深い伝統文化の「茶道」を総合的な学習の時間等で一層活用できるようにと初実施。3回連続講座。本市の「学校茶道」はすでに106校が授業や部活動等に取り組んでおり、全校アンケートでは約100名の教員が研究会の創設に関心を示すなど、学校茶道研究会発足に向けての確かな一歩が踏み出されました。

全国おやじサミット

京都に1,050人が結集！

～全国ネットワーク構築へ第1歩～

「全国おやじサミットin京都」が9月3日、祇園甲部歌舞練場で、北海道から鹿児島までの「おやじ」たち1,050名が参加し開催されました。

全体会では、子どもとの関わりの中で家庭や地域でいきいきと輝くお父さんの姿を表現した「輝くおやじ像」の入選作品が発表。全国2359作品の応募作品の中から、大賞には「お母さんが入院した時、スパゲッティを作ってくれたお父さん」が選定されました。

京都市社会教育委員で元ラグビー日本代表の大八木淳史さんが「おやじのスクラム 子どもヘトライ」と題して記念講演を行い、会場は、笑いと熱気に包まれました。

分科会は、「オヤジってなに?」「こわいオヤジはどこいったん?」をテーマに、家庭や地域での父親の役割について活発な意見交換が行われました。

さらに、京都から「おやじの会」の全国ネットワーク構築への決意が表明され、「我が子の父親から地域のおやじへ」、「おやじの会」のパワーが京都から全国に発信された1日となりました。



ご意見・お問合せ＝生涯学習部(222-3590)

京都の中高生が全国を舞台に文化に！体育に！大活躍！

紫野高3年堀部葵さんと東ノアさんが、俳句甲子園における個人戦最優秀賞、審査員特別賞を受賞。その功績を称えるため、京都市立学校文化芸術賞を授与。表彰式で、2人は受賞の喜びと今後の抱負を力強く語りました。

また、全国高校総体新体操男子個人戦で全国優勝した紫野高2年北村将嗣さん、全国中学校体育大会競泳女子200m＜大会新記録＞・400m自由形で優勝した京都御池中3年田井中千加さんがそれぞれ優勝報告のために、教育委員会を表敬訪問されました。

日頃の厳しい練習で培われた成果が全国を舞台に大きく実を結んだ2人は、喜びの笑顔とともに、次への目標に向けての決意を熱く語りました。

この夏の貴重な経験を糧に、文化、体育を問わず、今後ますますの活躍が期待されます。



(上)学校文化芸術
賞表彰式、(右下)
北村さん優勝報告、
(左下)田井中さん
優勝報告



京都市立小・中学校の授業日数7日間増加 政令指定都市トップの205日以上実施！

各学校における学力向上の取組を更に充実していくため、18年度から、夏・冬休みの短縮はもとより、入学式や始業式を早めるなどにより年間授業日数を7日間増加させ、毎年205日以上授業を実施することとなりました。

これまで、学校判断による2学期制の実施や夏・冬休みを短縮し授業日とすることを可能とし、各学校では大胆な意識改革のもと、子ども・地域の実態をふまえた特色ある教育活動が展開されてきました。

昨今の全国的に学力低下への不安がある中、公立学校に対する保護者・市民の期待に応えるため、京都市立学校では、夏休み中も、学力向上のための発展・補充を行う補習学習や体験学習の取組が推進され、今年度は、平均7日、最大25日間行われました。

また、快適な学習環境を整備するため、今年度の全中学校に続き、来年8月24日までに、全小学校に、クーラーが設置されます。

今後も、こうした本市ならではの教職員の熱意と学習条件を最大限に生かしながら、子どもたちのために、取組の充実が期待されます。具体的には、授業日数の拡充や年度末の人事異動等の日程の繰上げ、入学式・始業式の日程についても検討が行われます。

ご意見・お問合せ＝学校指導課(222-3808)